



傳説 磐城黒姫物語 斧 青三郎

黒姫の驚きはこればかりではありませんでした。うるんだ姫の眸の前にはあの真白い羽毛の鳥が冷たくなつて落ちて死んでおりました。

黒姫は重なる意外の驚きに慄く心を静めて白鳥の死骸を抱いて泣き伏しました。狂つてゐた白鳥も白鳥を抱へて泣きました。その時白鳥の亂れた心が元の様になりました。

白鳥のなきがらを四人は萬草寺に運んで懇ろに葬りました。和尚は涙を流して經文を唱えました。石のお地蔵様を建てました。黄菊地蔵がここにこと春の光を浴びておりました。

お地蔵様の足元には蓼の花と白菊の花が美しく咲いて紫の線香の煙が香として立のぼつておりました。黒姫は雨の日も、風の日も香を捧げ珍しい草花や黄菊が好きだつた栗饅頭などの餞けなどを怠りませんでした。

臘月の冴えた夜は狐がコンと啼いてお地蔵様のお供を喰べて行くのでした。平和な日が流れて行きます

青三郎

酒樽を積んだ隣村の駄賃馬がシャリン、シャリンと鈴を鳴して庄屋の前に着きました。酒樽が二駄も三駄も門の中に積まれました。

庄屋の屋敷をこんもりと包んだ緑の大樹も雀色の中に暮れて行くのでした。庄屋の門には紅白の幔幕が張られました。そして門の両際には赤々と焚松が燃えておりました。里の人達の頬には赤い灯の影が赤々と動いておりました。集まつた人の中には里の娘さんや村の若衆が互に語り合ひました。

軒場には紋付の高張り提灯が吊されました。温るまつた酒の匂ひが表に漂いました。領主様から御下賜の鯛

いかにのぼり遙かの空に五つ四ついかにのぼり流れて雲に入りけりいかにのぼり喰りあぐる廣野原土橋行く人の見あぐる繪風哉大風のゆつたり上る小松原日暖か障子に風のうなりきく島の帆舟のへさきに揚りけりたこ上ぐる兒の頬赤し空青し

いかにのぼり遙かの空に五つ四ついかにのぼり流れて雲に入りけりいかにのぼり喰りあぐる廣野原土橋行く人の見あぐる繪風哉大風のゆつたり上る小松原日暖か障子に風のうなりきく島の帆舟のへさきに揚りけりたこ上ぐる兒の頬赤し空青し

一対が運ばれました。紋付の羽織に袴をつけた人達に交はつて庄屋の喜びに溢れた顔が見えるのでした。

十五夜の月が段々と小さくなりました。庄屋の襖が左右に開かれました。里の人達ほどつとおしよせました。

松やのぼんぼりが廣い座敷の中に幾つも赤々と燈りまし里の人達は眩しいと言ひました。正面には美しい花の様な黒姫の花嫁姿が見えました。人達はその美しさに見とれるのでした。黒姫の隣席に座したのはお婿さんでした。里の娘達が申し合せた様に

「白菊ささ、白菊ささ」と、口づさみしました。今宵は黒姫と白菊の婚禮の宴でした。

それから二年かの日が暮

いかにのぼり遙かの空に五つ四ついかにのぼり流れて雲に入りけりいかにのぼり喰りあぐる廣野原土橋行く人の見あぐる繪風哉大風のゆつたり上る小松原日暖か障子に風のうなりきく島の帆舟のへさきに揚りけりたこ上ぐる兒の頬赤し空青し

橋の花の薫る五月の空には悠揚とした鯉の吹流しが立ちました。五色の幟が朝風にひるかへりました。庄屋の座敷には五月人形が勇ましい姿で飾られるのでした。

黒姫は菖蒲を矢羽の形にきつて簪の上にかざして床の間の前で、立鶴と、竹の寸筒に菖蒲を生けました。老婆の背には可愛い男の子がねておりました。黄菊と名付けた子でした

井坂醫院 産科 婦人科 花柳病科 入院隨意 平町田町 電話五五九番

エビスヤ自轉車店 平局御用 宮田自轉車九半度郵便局納の五千二百輛

有給外務社員數名集 經驗の有無、男女ヲ問ハズ奮闘家ヲ望ム 固定給ノ外旅費支給、希望者ハ履歷書持參午前中 御來所ヲ乞フ 明治生命保險株式會社 平地方募集事務所 主任 小野勝康

御融通には！ 是非御利用を..... 萬事便利な御相談に應じます。 三井質店 平四・電六〇六番

有給外務員招聘 相當學力あり年齢二十才以上の者 經驗の有無を問はず眞面目な奮闘の士を求む 固定給を給與す 委細面談 片倉生命保險株式會社 平町鍛冶町代理店 牛久陽弘 電話三八七番

店員募集 小 店員 五名 十三才より十五才迄尋常科卒業生三名 十四才より十七才迄高等科卒業生二名 大 店員 三名 十六才より十九才迄商業、中等學校卒業生 優待制度の外特別賞與を支給す 御希望者は御面談（履歷書を要す） 御面談は一週間前に御通知を乞ふ 化粧品問屋 大黒屋勝次商店 卸部 平町三丁目（本通り） 小賣部 三丁目角（常磐銀行前） 電話長一六六番

評判で香りのよい..... 電熱ほうじ茶發賣 一號 一斤六〇 四半斤 一五 二號 一斤四〇 四半斤 一〇 大黒ばしら家の王 勝手道具は世帯王 大勝園で買った茶は 茶の間の王と客間王 父様母様おすきの茶 客のほめる茶喜ぶ茶 平三 大勝園 電三九六番

受験線を目がけて

ひた押しに突進!

磐中は昨年より減少したが、磐女は反て増加

既報本年度入學願志者の受付を締切つた磐中の受付数は三百五十七名で昨年より十一名減じたが磐女は反對に三百八十八名で昨年より十五名を増加し一層受験の難苦を増す事となつた、因に廿四日締切りの平商は目下百三十七名で締切迄には昨年の百八十名に達する見込みである

締切日迄の願書受付數

付ける事になつた

平驛で輸送演習

參謀本部から來郡

陸軍參謀本部第六課長渡邊砲兵大佐以下二十餘名の一は二十五日午前九時三十分着列車で來平構内で軍事輸送演習を行ふ

劍道具の

寄附豫算

理事會の結果

既報平第一小學校の保護者會理事會は昨十三日午後一時より同校講堂に開かれ第一第三兩校の劍道具費募集に就いて協議せる結果第一校分三百圓、第三校分二百圓、合計五百圓の寄附豫算額に依り保護者會員が主体となりこれに石城劍道會、磐城柔道有段者會等の應援を受けて一般特志家よ

磐女卒業生

謝恩會開催

既報磐女では本十六日午後一時より同校講堂に於いて本年度卒業生百八十四名の送別會を催し終つて卒業生の恩師一同に對する謝恩會があつた

平第三送別會

平第三小學校では二十二日午後一時から本年度卒業生百十餘名の送別會を開く

農事共進會の

人賞者氏名

石城郡農會主催の昭和八年度農事共進會の入賞者は合計五十七名でこれが褒賞授與式は二十一日午後一時から平町國體事務所樓上で舉行されると入賞者は左記の通り

- △堆肥【一等】(川部)小野魯平 (錦)佐藤正【二等】(内郷)山崎正 (鹿島)黒木英康 (勿來)安島勝義【三等】(上遠野)櫻田吉太

産看兩校

の卒業生

平町石城産科婦看護婦學校第三十五回卒業式は明十七日午後二時より、平産看看護婦第二十七回卒業式は来る十九日午後二時より夫々舉行されるが兩校の卒業生は左の如くである

- 石城産看校
- ▽産婆科 猪狩富美子 伊藤はなよ 岩倉タミ子 橋本ユキ 林千歳 長谷川静江 萩原幸子 萩野マサ 小野瀨ツネ 小銀治スエ

- 阿部美子 赤津シマ子 佐藤フミ子 佐川ハツ子 佐藤ナミ子 佐藤光子 佐藤直 木田文代 緑川ミトリ 四家ツルヨ 渡邊操 加澤ミチ 片寄キヨミ 粥塚アサ 吉田セイ子 吉田富子 高久文恵 園部サダ子 根本キヨ子 大平ミヨキ 大谷シゲ子 前田スエノ 四家トミ 白井幸子 庄司益子 平本英子 蛭田アイ子 蛭田きよ 馬上ナツ子 鈴木タカ子 (以上四十一名)

- ▽産婆科 猪狩テヨ 岩下ハル子 西牧きやう 西村はる子 新妻富美 星龜代子 細川カヅイ 大木ウメ子 大友ヨシ 大田原シマ子 小野マサ子 小野關江 小貫千代 岡田美智 草野鐵渡邊リイ 加藤イク子 横山キクエ 吉田サタ 田仲ツギ 宗像タカ 工藤キミ 山野邊猛 山下静枝 山崎

- アサ子 松崎ヨシ 船尾トキ 小林キヨ子 鈎ナカ子 片寄正子 阿部チエ 阿部コト 相川マサエ 坂本静衛 佐藤房子 齊藤マツ子 北郷美代子 鹽原ヤイ 雫石明 須藤タネ子 鈴木ケン 鈴木ツヤ子(四十二名)

- め 武川徳子 高木ミイ 長瀬マサヨ 長瀬キヨ子 中目安子 宗像タカ 遠藤隆子 遠藤セキヨ 岩下ハル子 工藤キヨ 草野京子 山下静枝 山崎アサ子 松崎ヨシ 船尾トキ 小林キヨ子 小松タツ 鈎ナカ子 阿部チエ 阿部コト 相川マサエ 坂本静衛 佐々木ミヤ 佐藤房子 齊藤マツ子 北郷美代子 宮本光枝 鹽原ヤイ 雫石明 灘井シゲ 蛭田光子 門馬ツツ子 須藤タネ子 鈴木ツヤ子 鈴木イサ 鈴木グシ(以上六拾名)

早大三選手を招き

新人養成に努む

磐中野球部猛練習を開始

磐中野球部では今年卒業生として小井戸主將以下七名のレギュラーを送りだし一脈の寂寞を感じさせてゐるが之に意氣沈滞することなく今年には縣下の征覇は勿論東北の強剛連を一蹴して「甲子園行」を實現すべくシーズンに先立つて近

始めて得た金を

氣の毒な人達に

今十六日平町役場共済會宛に一女學生よりの匿名の手紙が届いたが係員が開封し、武川徳子、高木ミイ、長瀬マサヨ、長瀬キヨ子、中目安子、宗像タカ、遠藤隆子、遠藤セキヨ、岩下ハル子、工藤キヨ、草野京子、山下静枝、山崎アサ子、松崎ヨシ、船尾トキ、小林キヨ子、小松タツ、鈎ナカ子、阿部チエ、阿部コト、相川マサエ、坂本静衛、佐々木ミヤ、佐藤房子、齊藤マツ子、北郷美代子、宮本光枝、鹽原ヤイ、雫石明、灘井シゲ、蛭田光子、門馬ツツ子、須藤タネ子、鈴木ツヤ子、鈴木イサ、鈴木グシ(以上六拾名)

平町人事

- △鎌田二九 三澤寅之助氏 五男孝
- △二丁目二六 折笠磯吉氏 二男宥吉
- △立町九三 當時郡山市垣 越町四〇中川廣次氏長女 久子

我身を爆破し

六十爺の獨り心中

相手の無情を恨んで

昨夜入山の慘劇

春淺き深夜、湯本入山炭礦坑夫長屋を驚愕させた色絶せた戀を迫り求むる六十爺が無理心中を果さず無慘なイナマイトの獨り心中を遂げた血み泥の情痴の狂態——磐崎村大字長倉小野田炭礦合宿居住同礦探炭夫橋本忠士(五七)は三月十五日午後十一時頃湯本町字八仙入山炭礦長屋三十五號の八長津トメ(五五)方に至り突如トメに

三年よりトメと内縁關係を結んで同棲してゐたが本年一月相談の上で離縁した處忠士はトメを諦め切れず此の世で添れぬものなれば彼の世でと老の身の年甲斐もなく以前より心中の機をねらつてゐたものらしい

居士との忠士の法名を送つてきたので不審に思つてゐましたが今になつて考へると忠士が以前から死を覺悟してゐたものらしい」と述べてゐた

居士との忠士の法名を送つてきたので不審に思つてゐましたが今になつて考へると忠士が以前から死を覺悟してゐたものらしい」と述べてゐた

居士との忠士の法名を送つてきたので不審に思つてゐましたが今になつて考へると忠士が以前から死を覺悟してゐたものらしい」と述べてゐた

居士との忠士の法名を送つてきたので不審に思つてゐましたが今になつて考へると忠士が以前から死を覺悟してゐたものらしい」と述べてゐた

心中を追つて硝安爆

藥四十五瓦を取出し雷管に点火せんとしたが折柄居合せたトメの長男勇(三三)に發見、取返へされたので忠士は更に懐中の前記爆藥と同量の硝安に圍爐裡の火から点火し

屋根に出でたる際轟

然爆發し内臓を露出、重傷を負ひ大騒の内に山病院に擔ぎ込まれたが十六日午前一時死去した

離縁を諦め切れず

年甲斐なき此處業原因は平署より保官出張調査の結果、橋本忠士は昭和

餅菓子に猫イラズを混じ

兄弟子の毒殺を圖る

自殺の決意を抱く少年が適量及び苦悶状態を知らんとして

箕輪村の謀殺未遂事件

自殺の決意を抱く十七の大工徒弟が毒死の状態を知らんとして試験の爲兄弟子を毒殺せんとした世にも稀なる超ナンセンス的謀殺事件がある——入遠野村大字上根本字大和生れ箕輪村大字高里字柳小屋小畑七三大工職齊藤忠八方徒弟折井正太(一七)假名は去月二十四日午後一時頃同人の兄弟子吉田久治(三三)の毒殺を圖つて俗稱田舎饅頭の中に猫イラズ(〇・七瓦を混じて食はる

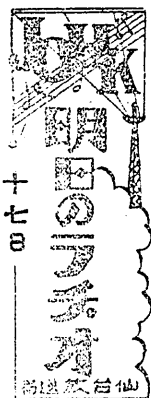
まゝに同饅頭を割つて食はんとしたが嗅氣甚しく且つ腹痛が出るので怪しんで食はなかつたため計書未遂に終つたこと平署で探知、此程檢舉され川島司法主任係り殺を決心せんとして適量及び苦悶状態を知らんとして兄弟子久治を試験臺にのぼせたものと判明した

果敢なみ且つ大工職がきらひになつたので自殺せんとしてゐたかたまたま、舊年未だに實家に戻つた際自宅の猫イラズを手に入れたので自殺を決心せんとして適量及び苦悶状態を知らんとして兄弟子久治を試験臺にのぼせたものと判明した

軍人が憧れの中心

園児たちの前途の志望 良い子になるもある

平町十五丁目日本基督平教 會内の清風幼稚園の卒業式



今晩の部
後六、〇〇 子供の時間
お話「人体めぐり」(一)
醫學博士 雨宮保衛
後六、二五 言葉の講座
(第十八) 講じた言葉一
神保格
後七、三〇 講演「幕末に於ける對外思想の發達と

明日の部
後九、三〇 時報
氣象通報 番組報告
後五、三五 法律講座 中川善之助
後六、〇〇 子供の時間
名作物語「イソップ物語」
村岡花子
後六、二五 基礎佛語講座
(十八) 目黒三郎
後八、〇〇 獨唱一名古屋公會堂より中繼—藤原義江
後八、三〇 清元 清元延以津外
後八、五〇 ウアイオリスと管絃樂

樂學校主催上野東京音樂學校より中繼
後五、三五 法律講座 中川善之助
後六、〇〇 子供の時間
名作物語「イソップ物語」
村岡花子
後六、二五 基礎佛語講座
(十八) 目黒三郎
後八、〇〇 獨唱一名古屋公會堂より中繼—藤原義江
後八、三〇 清元 清元延以津外
後八、五〇 ウアイオリスと管絃樂

相手の

婆さん語る

送られた法名

尚ほトメは保官の取調べに對し「去る八日忠士の原籍地である田村郡殿江村の大雲寺から自分宛に眞如喜樂

居士との忠士の法名を送つてきたので不審に思つてゐましたが今になつて考へると忠士が以前から死を覺悟してゐたものらしい」と述べてゐた

居士との忠士の法名を送つてきたので不審に思つてゐましたが今になつて考へると忠士が以前から死を覺悟してゐたものらしい」と述べてゐた

居士との忠士の法名を送つてきたので不審に思つてゐましたが今になつて考へると忠士が以前から死を覺悟してゐたものらしい」と述べてゐた

居士との忠士の法名を送つてきたので不審に思つてゐましたが今になつて考へると忠士が以前から死を覺悟してゐたものらしい」と述べてゐた

縣下大會の使用球場は

警中、平商、古川と内定

本年度縣下中等學校野球大會は七月二十三日から三日間警中に於て舉行すること既報したが警陽野球後援會ではこれが準備に萬全を期すべく十四日夜會長阿部政右門氏宅に幹部會を開き球場選定に關し協議した結果球場は警中、平商、古川の三球場に略々内定した模様である

種痘始る

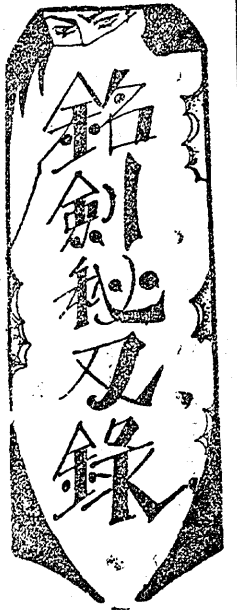
廿二日から

平町本年度の定期種痘は來る二十三日から左記日割で施行されるが検診日は二十九日である

▲二十二日(酒井病院) 一丁目 二丁目 材木町 銀治町 南町 大町(清水病院) 北白銀町 仲間町 南白銀町 鐵道官舎(矢吹醫院)長橋 研古 紺屋町 久保町 八幡小路 ▲二十三日(市原醫院) 田町 胡摩澤 北目 搔槌小路 (平醫院) 五丁目 鎌田 立町 大工町 (根本醫院) 三丁目 四丁目 新川町 月見町 堤ノ内

軍鶏賭博團 二名控訴

既報去る十二日平區才判所に於いて中島判事より賭博罪に依り懲役五ヶ月を言渡された湯本軍鶏賭博團の一味湯本町字三國大友喜佐次及び徵役二月を言清された赤井村字高萩關谷甚藏の兩名はいづれも不服ありと本



【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴演
山本英春畫

第一百八十二回 徳川家に崇る村正

始めて知る母の墓

横澤、本多、白旗の三人が止めたので水上五太夫も漸く刀をそれへ置き
五「イヤ心配するな、直に斬る氣ではない、只脅かしたまでだ、併しこの小僧面白く奴だ、拙者の威に恐れず、たとひ命を取られても酒を飲まんとは能く申した三つ子の魂百まで、男子たる者その場に臨んで意見を曲ぐる様ではいかん、コレ門弟衆、決して心配をさつしやるな、小僧の氣象を試みて見たのだから」
白「左様でございますか、そうとは存じませんから驚きました、コレ由松、お詫びをしたら先生はお前の氣性をお試しなすつたさうであるから」
由松も残念ながら兩手を仕へ



由「誠に申譯もございませぬ、これまで色々ご恩になつてゐる先生に對し、逆ひまして御無禮致し、何ともお詫びの申し様もございませぬ、どうか皆さんからもよろしくお取りなしを願ひます」
五「宜しくもうその氣性も知れた、これより益

白「左様でございますか、それで御免を蒙ります、サア由松、手前も此方へ参れ」
白旗、本多、横澤の三人が由松を小座敷へ連れて來て真ん中へ置き
横「オイ由松どうしたのだ、平常の温和にせず先生に逆りなんかして早くないではないか」
由「誠に申譯もございませぬ、相済みませんでございませぬ」
横「相済みないではないぞ吾々が傍に居て詫びたから無事に済んだものゝ、家の先生は宜い方だが、とうも疔癩持ちだ、自分の意に逆ふと何をするか知れない、これは極内々の話だがお前は始終庭掃除をするから知つてをるだらうが庭の隅築山の陰に小さな石塔があるだらう」
由「へへでございます、あれ

のある商家の家内の墓だ」
由松ハツと思つて
由「何でそんな人の墓など庭にお置きになるので」
横「それがな、先生が大層御意に召して道場へ連れてお出でになつたが、言葉に從はない許りか悪口したので例の先生の氣性から馴り殺しにして終つたのだ、その屍の片付け場がないから彼の庭の隅へ埋めたのだが先生も悪いことをしたと思召したのだらう、その後形ばかりの石塔を建て折々花を手向けたりなすつてお在でなせる、吾々も事情を知つてゐるから度々参詣してやるが、その通り先生は疔癩持ちだからこれからもあることだ餘り先生に逆ふのは宜しくない」
と横澤が酔つてゐるからツイうか／＼と喋つてしまつた、白旗と本多が目附をしたが感じないので
白「オイ、横澤、つまらんことを喋るなそんな事が先生のお耳に入つたら大變だぞ」
横「オウ、さうだつたな、由松これは決して他言してはならぬぞ、貴様だけに念の爲話して置いてやる」
由「有難う存じます」
他の者には兎に角一番悪い者に横澤が喋つてしまつた
白「サア、部屋へ下つて寝ろ」
由「お休みなさいまし」
と三人も已れの部屋へ這入つて寝ろ、由松も仲間部屋へ來ると八藏爺さん酔拂

つてグ／＼ねてゐる、ソツと音のしない様に由松もね床へもぐり込んだが、サアねむれない
由「今迄は知らなかつたがあれが行衛の知れなくなつた阿母さんの墓か、ドレお詣りをしようソツと部屋を脱け出し庭の隅の築山の影にある石塔の前へくると誰か上げたのか木の枝を折つて突き差してあり欠茶碗に水が吸んであるその前にしやがんで頻りに由松が拜んでゐる時に何者とも知れず木影からその様子を見てゐる者があります

ほしやなぎ
いかの鯉から
鱈魚の子



店理代平命生本日本大最優最
築盛賀志
(三一二電)目丁四平

美味で！
評判の……
イワキ
サロシ
電 352

入學記念時計賣出し
お目出度い御入學御進學が近づきました。
御祝に是非正確な時計及眼鏡を御求め下さい。學生様にかぎり拾ヶ年保険付
特 價 金七 圓ヨリ
近眼鏡(玉入) 金壹圓五十錢ヨリ
右三サーピスは 三月十五日ヨリ 四月十五日マデ
(小店員數名募集) 平町五丁目(釜屋前)
金光堂時計店
電一九五

通學服と防水マント賣出し
可愛らし御
の取揃を
の命を
の御用
の御卒
の何卒
の通學
の何卒
の坊主
の座
男 兒 用
紺サージ金釦服……3.80ヨリ
黒小倉服…….90ヨリ
黒上口…….1.60ヨリ
女 兒 用
紺サージ制服…….3.60ヨリ
紺セルセラー服…….2.80ヨリ
防水マント
片ゴム…….1.20ヨリ
中ゴマ…….1.55ヨリ
ふかや洋服店 平三 電203